

中央道恵那山トンネル(上り)飛散防止事故報告 ①



■発生日 平成25年4月19日(木) 10:17頃

■場所 中央自動車 恵那山トンネル(上) 追越規制中 KP272.65

■事故概要

トンネル内で路面補修工事行っており、コンパネで飛散防止を行いながらハツリ作業を行っていた、ところ飛散防止のコンパネの上からハツリかすが走行車線に飛び、走行中の一般車のフロントガラスに当たった

■時系列

事故発生

10:17 お客様(被害者)から阿智PA(上)から緊急ダイヤル■■■■■本部に連絡

10:30 交通管理隊到着

10:43 「先を急ぐ」とのことでお客様離脱

11:30 上り線のトンネル作業の内容を確認し、場所、作業内容、工事方法から路面補修工事が該当

13:00 NEXCO ■■■■保全■■■■課長から被害者にTEL

14:00 安全大会実施

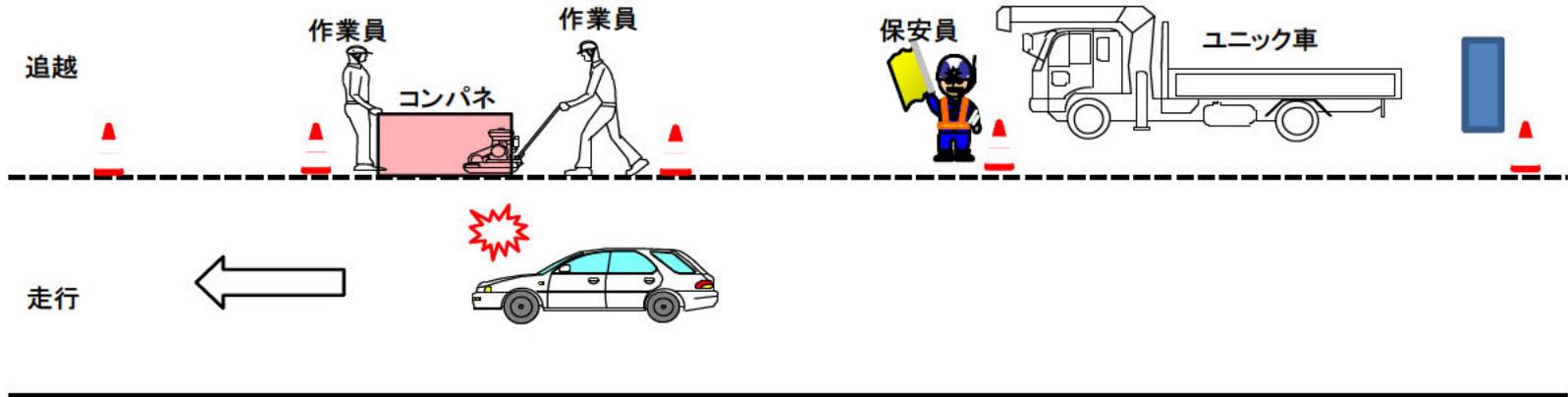
16:10メンテ■■■■課長より被害者へ謝罪及び補修を申しで了承される。

現場状況図

■作業状況

図原

中津川



はつり状況 (コンパネ養生)

転圧状況

監視員配置状況



■事故原因

- 1.ポットホール補修を実施することで準備して出発した。(ポットホール補修のためブレーカーを使用せず、飛散防止枠を準備していなかった。)
- 2.現場に到着するとポットホール程度ではなく、小補修で対応が必要な状態だった。・・・この時点で小補修対応に切り替えて飛散防止の鳥籠を使用すべきだった。
- 3.現場は極めて小規模なハツリのためコンパネを使用して防護し、ブレーカーを使用したため飛び石が発生した。(作業員は、ポットホール補修の手順書で作業をしており鳥籠飛散防止がなされてなかった。)

■被害者・被害状況等

- 1.被害者 ■■■ 様 ■■■■
- 2.車両 ■■■■■ フロントガラスに1～2mmのキズ2箇所
- 3.修理概算金額 ■■■■ 円

■事故後の対応と再発防止対策

■事故後の対応

メンテ■■■課長より被害者へ謝罪し補修したいと申し出る
■■■様も修理することです承していただく。

■再発防止対策

- 1.ポットホール補修の作業手順書の見直し(ポットホール作業でもブレーカーを使用する場合は飛散防止枠を設置する)・・・軽量の鳥籠を作成する。
- 2.作業手順書に基づき飛散防止ネットを隙間なく貼る。
- 3.ハツリ作業時のコンパネの使用禁止する。
- 4.緊急工事の場合は、できる限り現場の詳細な情報を提供して欲しい旨、NEXCOにも協力依頼(ERSSを活用して現場写真等の情報提供をお願いします。)